



## 《感染症発生状況(R8/4/1～4/30)》

	古河保健所管内	茨城県内
2類感染症	結核3件	結核35件
3類感染症	腸管出血性大腸菌感染症1件	腸管出血性大腸菌感染症3件
4類感染症	A型肝炎1件	E型肝炎2件、レジオネラ症6件
5類感染症	後天性免疫不全症候群1件、水痘(入院例)1件	アメーバ赤痢2件、ウイルス性肝炎1件、劇症型溶血性レンサ球菌感染症1件、侵襲性肺炎球菌感染症5件、百日咳16件、水痘(入院例)1件、麻しん1件、梅毒11件、後天性免疫不全症候群2件

## 《今月のトピックス》ダニ媒介感染症



マダニの活動が盛んな春から秋にかけては、マダニに刺される危険性が高まります。茨城県では、病原体を保有するダニに刺されることで感染するつつが虫病や日本紅斑熱が毎年報告されています。また、2025年8月には、重症熱性血小板減少症候群(SFTS)の県内初症例も報告されており、引き続き注意が必要です。

茨城県におけるダニ媒介感染症報告数

(2021～2025年、n=71)



### 【予防方法】

#### マダニに刺されないよう注意しましょう！

農作業やレジャーなど草むらや藪など、マダニが多く生息する場所に入る場合には、長袖・長ズボン(シャツの裾はズボンの中に、ズボンの裾は靴下や長靴の中に入れる)、足を完全に覆う靴、帽子、手袋を着用し、首にタオルを巻く等、肌の露出を少なくすることが大切です。

帰宅後や入浴時には服や身体にダニがついていないか確認しましょう。

また、ペットのダニ対策も重要です。

### マダニに刺されてしまったら・・・

○ダニを無理に引き抜こうとせず、医療機関(皮膚科など)で処置(ダニの抜去、洗浄など)をしてもらいましょう。

○ダニに刺された後、数週間程度は体調の変化に注意し、発熱・発疹などの症状があった場合には、医療機関で診察を受けてください。

#### 【受診時に伝えること】

- ①ダニに刺されたこと
- ②屋外活動の日付
- ③屋外活動の場所
- ④発症前の行動

\*そのほか、詳しい情報は下記のホームページ(QRコード)をご参照ください。

○厚生労働省HP



○茨城県HP



【お問い合わせ】

古河保健所 保健指導課  
TEL:0280-32-3068